

## ■■ 28355！を1人で遊ぶ

1人用ルールは4人用ルールとは異なり、評価☆を集めるのではなく「発揮値を上げることのみを追求する」モードです。4人用ルールに加えて「捨て札置き場」が登場します。

基本的なルールは同じなので、先に説明書で4人用ルールを把握しておいてください。

### ●スタートステップ

山札を作ります。その際、《SK283プロ》《SK七草はづき》の2枚は除外します。  
(つまり64枚で山札を作ります)

### ●プロデュースステップ(5回行う)

①審査員カードの公開 …山札を1枚めくり、審査員カードとします。

②手札の配布 …山札を5枚引き、手札とします。

③マリガン(手札交換)

その手札で良ければそのまま何もせず④へ進みます。

手札に満足しなければ全ての手札を捨て札置き場に置き、②に戻ります。

ただし、山札から引く枚数は「前回引いた枚数-1」枚だけとします。

手札1枚の時に捨て札にしたのなら、もう手札は引けないので④へ進みます。

例) 1回目の手札5枚を捨てたら、次は4枚引いて手札にする。

④編成(手札の配置)

手札を全て手元に自由な順番で置き、編成します。置き方のルールは4人用の時と同じなので、途中で改行してもかまいません。ただし、以下の点のみ異なります。

・チェンジは行わない(pアイドルは重複してもよいが、審査には重複して参加させられない)

【memo】

プロデュースステップを5回行ったとき、審査員カードも5枚並んでいます。  
後のオーディションステップでは通常のゲームと同じように3編成を使用しますので、最低3編成分のカードが不足しないよう気をつけてマリガンしましょう。  
一度もマリガンしなければ $5 \times 5 = 25$ 枚で編成枠がちょうど埋まります。

### ●オーディションステップ

①審査員カードの公開 …山札を1枚めくり、審査員カードとします。

②参加ジャンル指定 …pアイドルにエントリーチップを載せます。

③審査

審査に参加させた3人のpアイドルの発揮値を計算し、スコアボードに加算していきます。

※《Sk田中摩美々》の「審査ジャンル内1位」は「発揮値が最も高いpアイドル」と読み替える。

発揮値合計が25点に満たない場合『流行補正』を使うことができます。

任意ジャンルのエントリーチップを裏返し、そのジャンルの審査員カードの枚数分だけスコアに加算します。流行補正は複数使ってもかまいませんがエンディングに影響します。

例) 流行1位の審査員カードは3枚だった。この流行補正を受けるなら、該当ジャンルに参加したpアイドルのエントリーチップを裏返して発揮値+3する。

結果により以下のエンディングを迎えます。

Sランクエンド : 流行補正を受け取らず30点を達成した。

Aランクエンド : 流行補正を受け取らず25点を達成した。

Bランクエンド : 流行補正を1つ受け取り25点を達成した。

Cランクエンド : 流行補正を2つ受け取り25点を達成した。

Dランクエンド : 流行補正を3つ受け取り25点を達成した。

Eランクエンド : 流行補正を3つ受け取っても25点を達成できなかった。